



森脇 徹 議員

市場任せの米政策を  
転換し、生産増と  
消費価格安定の農政へ

学校や保育施設の給食で、

高島産米は確保できているか

9月以降はどうか

米騒動に起因する価格上昇により、

現時点では市内産米の入手が困難な  
状況が発生しています

困難な状況が発生しています。

**問** 学校・保育園・市民病院、  
介護施設やこども食堂等での  
高島産米食材は確保できてい  
るか。

**答** 農林水産部長

地域の農業者と消費者を結  
ぶ地産地消は、消費者の「地  
場農産物」への愛着や安心感  
が強まり消費拡大で農業応援  
にも繋がり、本市の農産物出  
口戦略での重要な要素です。  
これまで地産地消の実践で、  
お米を中心に学校給食等で市  
内産米の使用を推進してまい  
りましたが、昨年度の米騒動  
に起因する価格上昇により、  
現時点では市内産米の入手が

**問** 現在、学校給食米3300人

の児童生徒分42tについて、  
契約はできているか。契約先  
と産地指定はどうか。

**答** 教育指導部長

公益財団法人「滋賀県学校  
給食会」と単価契約を締結し、  
滋賀県産米のコシヒカリを購  
入しています。

**問** 9月以降は新米の市場にな

るが、高島産米の入荷とな  
るか。

**答** 教育指導部長

令和7年10月までは滋賀県

産のコシヒカリですが、11月  
以降は高島産コシヒカリを提  
供していただけるように、「滋  
賀県学校給食会」と調整をす  
めています。

**問** 学校給食米は入札ではな

く、生産者との随意契約に転  
換できないか。

**答** 教育指導部長

学校給食の使  
用米は、多くの  
米を一定の品質  
を確保し安定的  
に提供する必要  
がありますので、  
生産者との随意



稲穂と通学路

契約については今後の米の流  
通事情を踏まえ、担当部局と  
も連携し検討してまいります。

**問** 高島産米を、消費者も生産  
者も誇りに出来る政策展開を  
農政の柱にされていくか。

**答** 農林水産部長

今後の政策展開については、  
本市の農業政策においても現  
在における情勢等を考慮しな  
がら、発展的に施策を形成し  
ていきたいと考えます。

**問** 生産者の主食用米増産意欲  
が、田植え面積に現れたか。

**答** 農林水産部長

主食用米の作付け面積は、  
令和7年産計画が2791.  
1haで、前年度実績より46.  
5ha増加し、加工用米や飼料  
用米から主食用米に転換され  
ています。

その他の質問

- ・4億円もの市民の血税の徹底  
回収と再発防止を
- ・小規模校で学ぶ児童生徒を軸  
に考える高島の教育を